

# 誰もがイキイキと暮らせる町をめざして

令和3～7年度 開成町福祉コミュニティプランを策定

問 福祉介護課 ☎84-0316



## 誰ひとり取り残さないために

地域でサポートを必要としているのは、高齢者や子ども、障がい者だけではなく、孤独死や虐待、引きこもり、自殺、生活困窮などの問題に対応していくため、新しいプランでは3つの取組みを加えました。

## みんなでつくる「たすけあいの町」

核家族化や生活の多様化などにより、家族や地域のつながりが薄くなってしまったと言われる現代の日本社会。「支える人・支えられる人」という枠組みを越えて、誰もが安心して暮らせる町の実現に向け、3つの目標を立てました。



社会福祉協議会  
土井 主幹

### 権利擁護の推進

認知症や知的障がいなどにより財産の管理や日常生活に支障がある方を社会全体で支えることが課題となっています。支援が必要な人を早期に見つけ、成年後見制度※の利用へつなげることで、町民の権利を守ります。



福祉介護課  
夏井 社会福祉士

### 人材づくり

- 大人も子どもも、福祉について気軽に学べる機会を充実させます。
- 自主的に活動する地域ボランティアの育成を推進します。
- 実践しながら学べる場を提供し、専門的な福祉人材を育てます。



福祉介護課  
萩原 社会福祉士

### しくみづくり

- 気軽に訪れることができる相談口や、組織を超えた柔軟な相談機能を構築します。
- 支援を必要とする人が自分にあったサービスを選べるよう、分かりやすい情報と、多様な形のサービスの提供に努めます。

### 自殺の防止

開成町は全国や県の平均と比べ自殺死亡率が低いものの、毎年1人以上が、追い込まれた末に自らの命を絶っています。ハイリスク層である高齢者、生活困窮者、若者、失業者などを中心に、総合的な自殺対策を推進します。



社会福祉協議会  
小野 主幹

### 再犯の防止

犯罪検挙件数が減る一方、再び犯罪に手を染めてしまう人の割合は増え続けています。非行を生まない地域づくりを進めつつ、保護司・更生保護女性会※などとの連携により、罪を犯した人が地域社会で立ち直れる環境づくりに努めます。



社会福祉協議会  
高橋 事務局長

### 地域づくり

- 情報発信を充実させ、必要な支援やサービス利用につなげられる地域づくりに取り組みます。
- 自治会などの地域コミュニティへの支援を推進し、町民同士の助け合い支えあいを促します。



地域福祉を知るための  
キーワード

#### 社会福祉協議会

民間の組織でありながら、一般の福祉サービスだけでは行き届かない福祉支援を担う団体です。町や地域の民生委員・児童委員との協力により、地域福祉を推進しています。



#### 保護司・更生保護女性会

保護司は、保護観察を受けている人への指導や助言などを通して、更生保護女性会は啓発活動や奉仕活動を通して、ともに過ちを犯した人の立ち直りを支援するボランティアです。

#### 成年後見制度

認知症などにより判断能力が不十分な人のために、後見人(代理で手続きや財産管理をする人)を選任する制度です。意思が明確なうちに、本人が自分の後見人を選ぶこともできます。

#### ゲートキーパー

自殺のサインに気づき、声をかけ、話を聞き、専門家につなげる「命の門番」です。自殺は誰にでも起こりうる問題であるという認識のもと、町ではゲートキーパーの養成を進めています。

#### 8050問題

引きこもりだった若者とその親が高齢化(80代、50代)し、生活が立ち行かなくなる問題です。精神疾患や障がいなどが要因になっていることもあり、早期の支援が必要です。

#### 生活支援コーディネーター

高齢者の生活支援・介護予防を推進していくことを目的とし、地域におけるサービスの提供体制の構築に向けたコーディネーターを行います。町では、社会福祉協議会に配置しています。

#### 障がい福祉計画

町では、みんなで支え合い、安心して暮らせる地域社会の実現をめざして、「障がい福祉者計画・障がい児福祉計画」を定めています。「福祉コミュニティプラン」とあわせて見直しました。

